

2011年4月1日から2015年3月31日に、川崎医科大学附属病院小児外科で鼠径ヘルニアに対し、腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を受けられた女性患者さんご家族へのお知らせ

研究課題名：子宮円索の長さとう鼠径ヘルニアとの関連

我々の教室は、2011年4月1日から2015年3月31日に鼠径ヘルニア修復術を行った女性患者さんに関する後ろ向き調査研究を実施します。

- ・ 術中に得たヘルニア門、腹膜鞘状突起の大きさ、子宮円索の長さをもとにデータを解析し、過去の文献をもとにヘルニア発生の原因を検討します。
- ・ 研究成果は今後、関連学会で発表および論文報告を行う予定です。
- ・ 患者さんの個人情報の公表や、外部への流出はございません。
- ・ 個人が判別できない状況で研究を行います。
また研究結果は、患者さんやご家族に直接お知らせすることはありません。
- ・ 研究対象者への謝礼はありません。
- ・ 研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では費用を要さない研究の為、深刻な利益相反の状態にはなりません。
- ・ 上記の研究に関するご自身の検査データについてご質問や、研究への参加を希望されない方は、お手数ですが、下記までご一報くださいますようお願いいたします。研究への参加を希望されない方のデータは使用いたしません。

【問い合わせ連絡先】

川崎医科大学附属病院 小児外科

倉敷市松島 577

担当者：小児外科学 臨床助教 久山寿子

電話：086-462-1111 （内線：26911）

メールアドレス：ped@med.kawasaki-m.ac.jp